

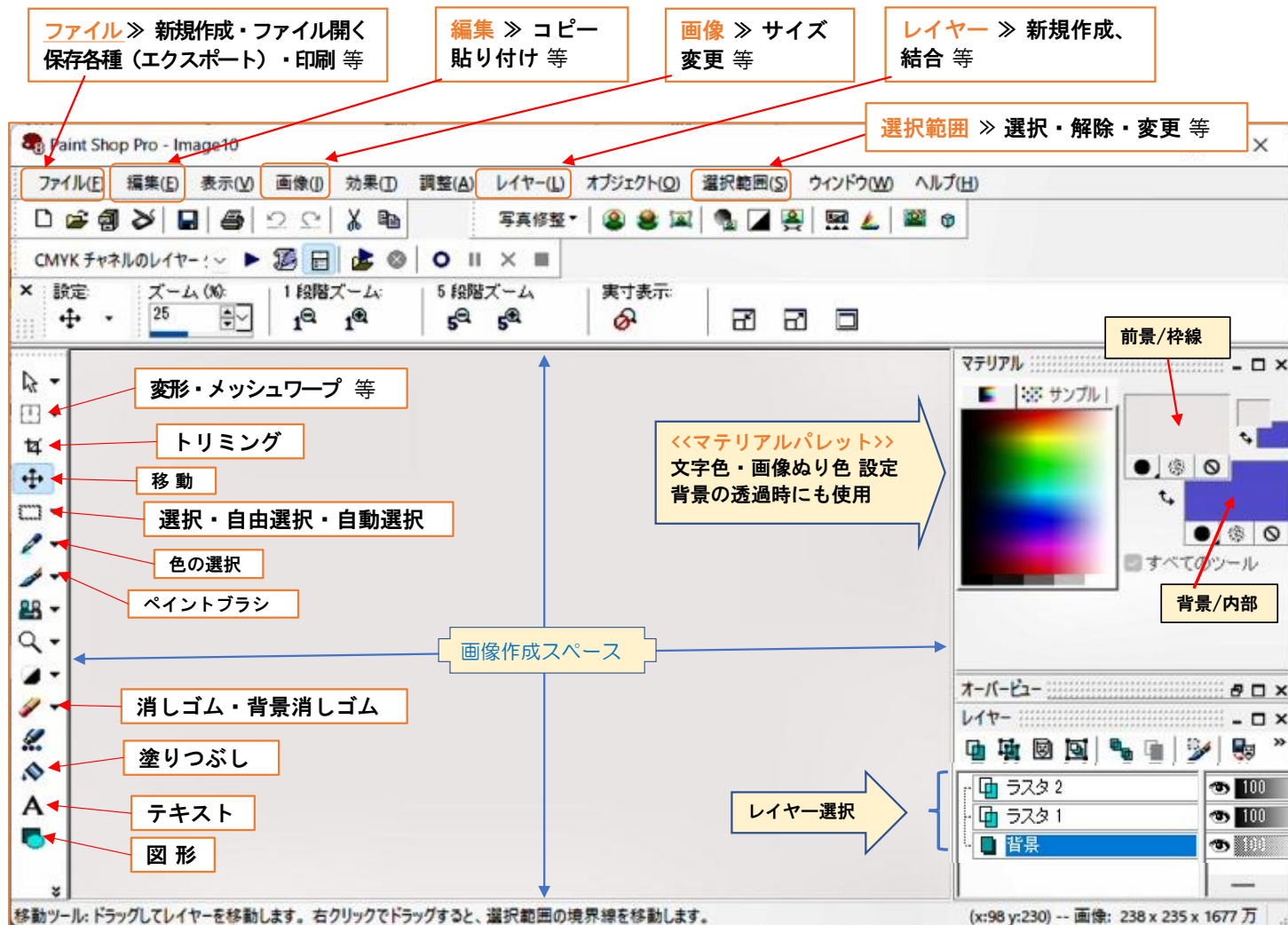
さあ『LINEスタンプ』を作ってみよう



5月14日以降全面改訂版

(※注)「画像作成」の作業をする場合は、特にパソコンのファイルの表示設定で**拡張子が表示**されるようにしておくことが大切です

I. 画像ソフト「Paint Shop Pro V8」全体画面 ※主に操作するボタンの説明



II. 簡単なスタンプ画像を作ってみよう

LINEスタンプで使用する画像の仕様
(メイン画像とトークルーム画像は、
正式に登録・審査の時に作成する)

	サイズ(pixel)	必要数
メイン画像	W 240 x H 240	1個
スタンプ画像	W 370 x H 320 (最大)	8個単位
トークルームタブ画像	W 96 x H 74	1個

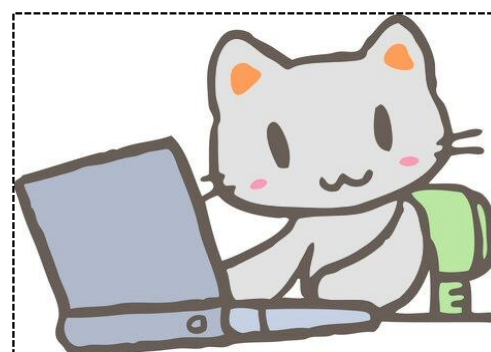
① 画像に使う**イラスト**を用意する。(自分で描くのが一番であるが、練習のためNetから無料イラストを取り込む)

Netの例:「**無料イラスト 猫 パソコン**」で検索。多数のイラストが表示された中で、下記のイラストを選択。



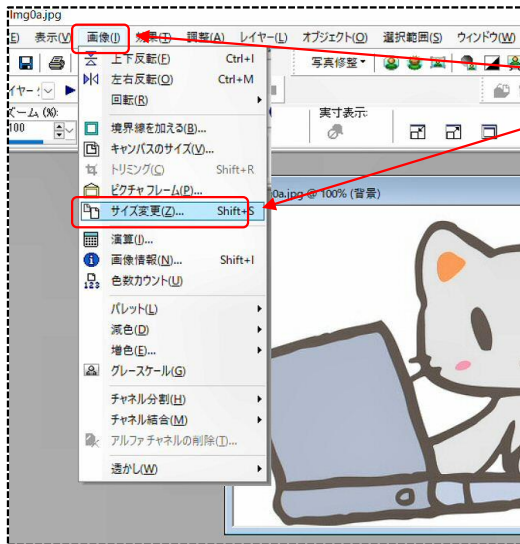
選択した画像の上で
右クリック。出てきた
メニューの「名前を付
けて画像を保存」をク
リック。保存場所を選
び保存する。

保存された画像



② 取込んだイラストのサイズを変更する。(仮にスタンプの最大サイズ以下にしておく) = 仕上げで再調整する

A. ①で保存したファイルをソフトの「開く」で画像を取り込む

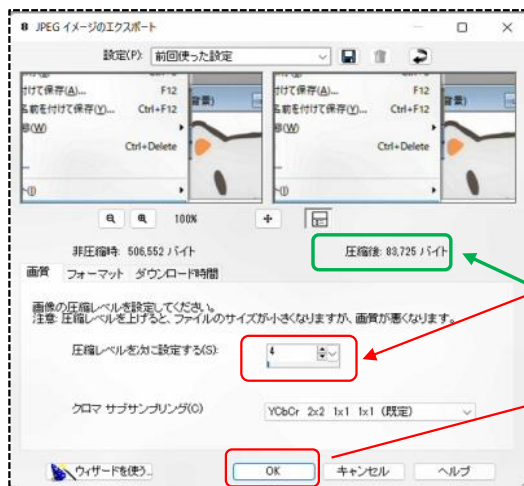
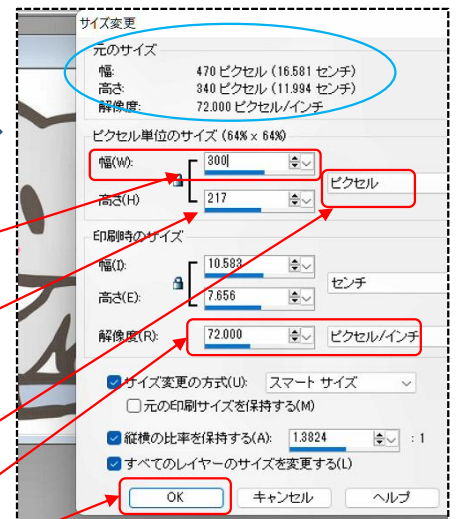


B. メニューバーの「画像」をクリックし ≫ 「サイズ変更」を選択する ≫ 「サイズ変更」画面が表示される

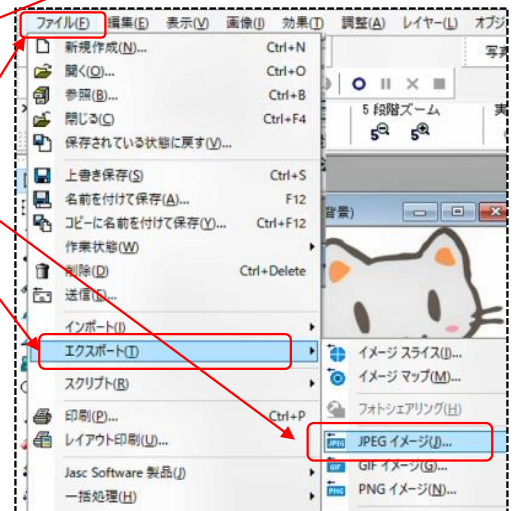
C. 「サイズ変更」画面の設定
幅欄に ≫ 300 と入力 ≫
高さ欄が自動で数値変更
(この数値が320未満ならOK
320以上の場合はこの欄に
320を入力する = 幅が変わる)

大切な確認

※ サイズの単位 = ピクセル
※ 解像度 = 72.000 ピクセル



D. OK でサイズが変更される。これを一旦保存する。
メニューバーの「ファイル」
≫ 「エクスポート」 ≫
「JPGイメージ」を選択
「エクスポート」画面で
必要により圧縮レベルの
数値を増減して圧縮後の
ファイルサイズを決める。
※この程度の小さい画像の場合
圧縮レベル = 1~5ぐらいでOK
OKで保存画面で、保存場
所、ファイル名を指定し
保存しておく。

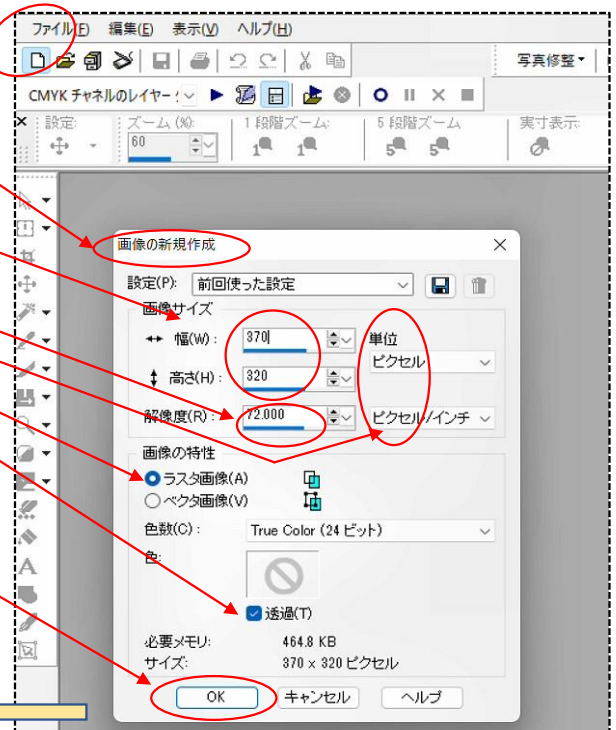
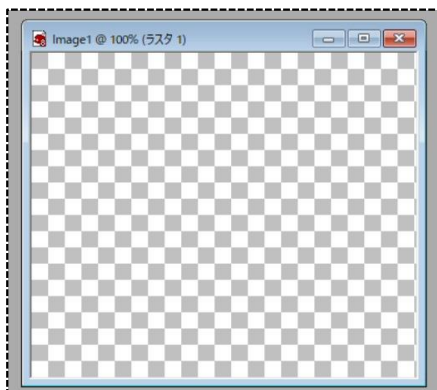


③ さあ「スタンプ」作りのスタートはここから。

A. スタンプの画像を作るキャンバス(下敷き)をつくる。
メニューバーの「ファイル」≫ 「新規作成」 ≫ 設定画面

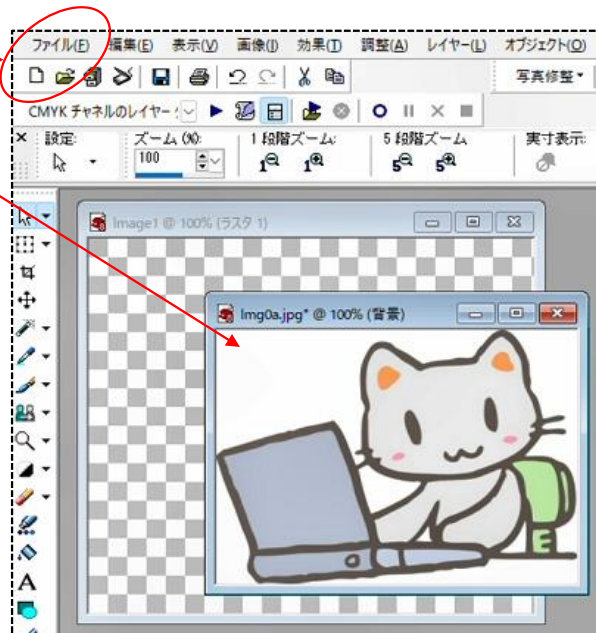
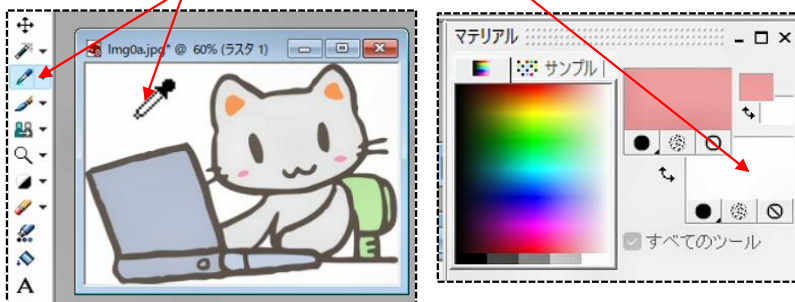
B. 「画像の新規作成」画面の設定。
画像サイズ ・幅 370 ・高さ 320 入力
・解像度 72.000 (設定確認)
・単位 = ピクセル (設定確認)
・ラスタ画像 ・透過 (設定確認)

C. 前記設定を確認 ≫ OK ≫
左図の背景が
透過された
キャンバスが
作成される。

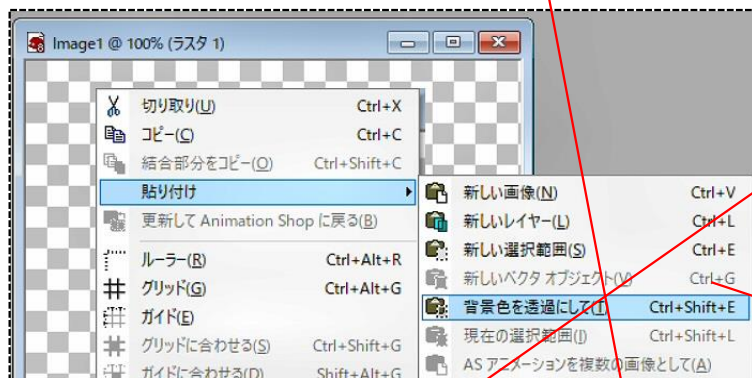
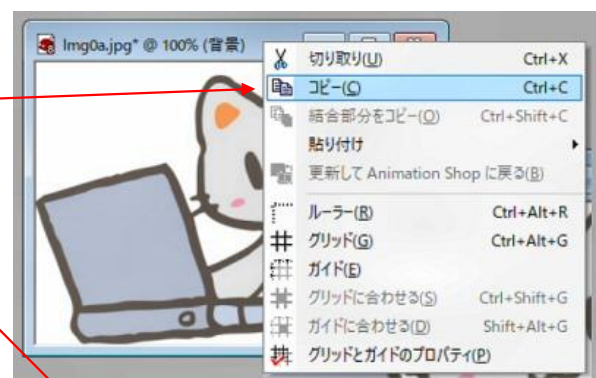


D. 用意しておいたイラスト画像を取り込む。
ファイル ≫ **開く** (or開くボタン) で **ファイル**を選択 ≫ **OK**
 (注) 上記 ② でイラスト画像のサイズ変更をした作業のまま
 ③の作業に進む場合はその画像そのままです上記操作は不要

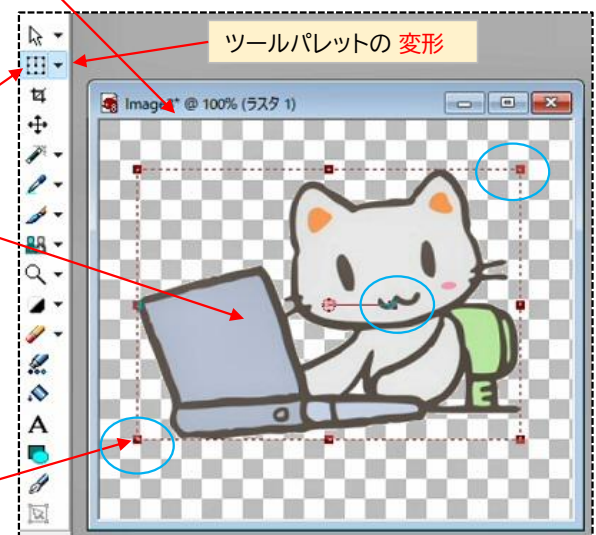
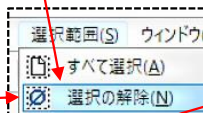
E. ① イラストの背景色を透過する。
 ツールバーの**色の選択** ≫ 画像の透過する背景の部分で
右クリック(スポイト) ≫ 色設定の **背景部分の色** が画像の
 背景色に変わる *この事例の場合(白色)



E. ② イラストの背景色を透過する。
 イラスト画像を **右クリック** ≫ **コピー** を選択 ≫
 上記 ③ C で作成した **キャンバス** で **右クリック** ≫
貼り付け ≫ **背景色を透過にして** を選択 ≫
 キャンバス上に背景が透過されたイラスト画像が出るので
 クリックし張り付ける。その画像は**フロート選択範囲**になっ
 ているので、メニューバーの **選択** ≫ **選択の解除** ≫ **選択解除**



F. イラストの**サイズ**、**回転**、**位置**の調整をする。
 ツールパレットの **変形** を選択 ≫ イラスト上に
変形用のハンドル が表示 ≫ **フロート選択範囲**
 になっているので、メニューバーの **選択** ≫
選択の解除 ≫ **選択解除**
 画像周辺の上下左右に**各3個のサイズ変更**
 のハンドル。中央から右に伸びた線の先に**回**
転のハンドル。あり
 これらのハンドルで、イラストの**大きさ**、**回転角**
位置の調整をする。



ここで出来たらひとまず**保存**する ≫ **.Png 拡張子**で保存する。
 ここでの保存方法は、**旧教本の3ページ**に習って下さい。

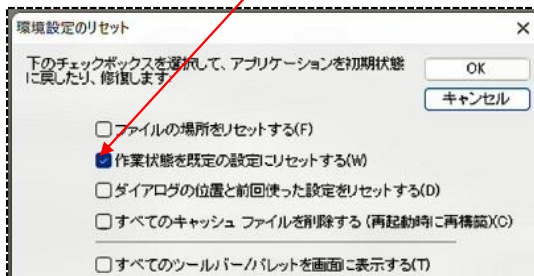
*** 保存せず次に進む場合は、次ページの文字を入れるに進んで下さい***

(ここまでの同様の操作で、色々な画像のファイルを作って保存しておく)
 このファイルに文字を加えてスタンプを完成させる。
 文字加筆と、最終保存方法・スタンプらしい変形は次ページから

ここで、この前の勉強で起きた問題点が、画像ソフトのメニューなど操作に必要なメニュー(道具)の表示が見えなくなる、というトラブルがありました。
何らかの理由で、教本にあるメニューが見当たらなくなった場合は、次の操作で復活させる。

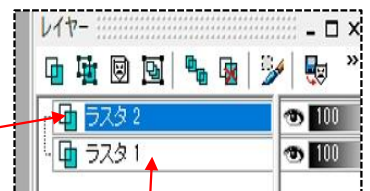
A. メニューバーの **ファイル** > **環境設定** > **環境設定のリセット**
リセット画面の「**作業状態を既定の設定にリセットする**」
に**チェック**をいれて **OK** へ
この教本にある道具類はみな表示されるはず

B. ラーニングセンター(縦長のメニュー)が表示されるが、**×**で消す

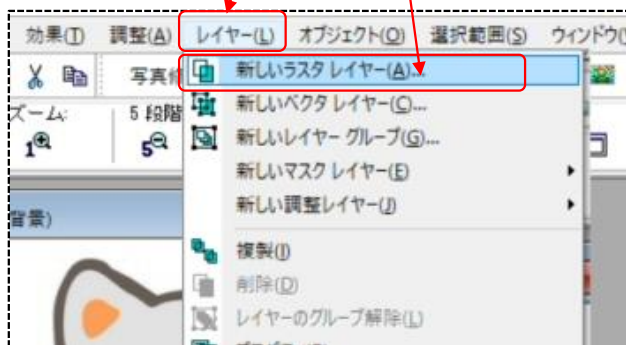


④ さあ「スタンプイラスト」に文字を入れます。

A. 前3ページ、③、F でイラストの調整が終わったら、文字を入れる
(前段階で保存していれば、必要な画像ファイルを開く)
メニューバーの **レイヤー** > **新しいラスタレイヤー** > **ラスタレイヤーの設定** > **名前を変更** (必要により) > **OK** > ソフト画面の右端のレイヤー の表示場所に **新しいレイヤー**が表示される(前記で変更した名前、変更なしの場合<ラスタ2>の表示)



ラスタ1は画像



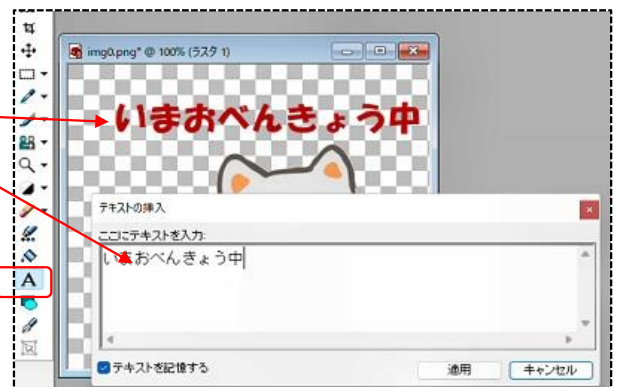
ここの名前は、レイヤー数が多くなる場合、どのレイヤーに何が描かれているか**判別**するため**必要により変更**する

B. 文字(or画像)をいれる新しいラスタレイヤーの確認(大切)
レイヤーの選択の確認 > レイヤー表示場所の **ブルーの表示** が**選択中のレイヤー**
(この事例の場合、ラスタ2を選択=レイヤー名をクリックする)



C. 文字(or画像)の書き込み > ツールバーの**テキストツール** > **+A**のようなアイコンを文字を入りたい**文頭辺りでクリック** > **テキストの挿入ツール** > **ここにテキストを入力位置に文字を入力する** > イラスト画像内に**文字が表示される**。

(注) 続いてこの文字の **フォント・サイズ・色** 等の装飾を行います。次のページの記載に習ってください。



D. 書き込む文字の装飾(前頁 C. のつづき)

入力したテキストを**全部選択**する(ブルーに塗られる)
選択したら**フォント関係のツール**で、必要な変更をする

*メニューバーの下にある**設定メニュー**により**装飾**する

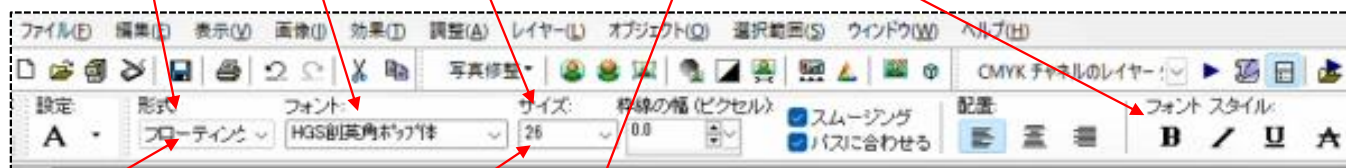
「形式」「フォントの種類」「サイズ」「スタイル」「色」の設定
» 各設定を確認 » **適用** »

テキストの挿入

ここにテキストを入力:

いまおべんぎょう中

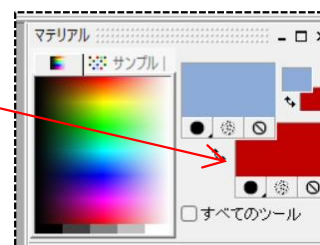
注意! 下図の「フォントの設定メニューは、前記 C. の「テキストツール」をクリック後に表示される。(基本設定では)



形式=フローティングを選択

サイズは画像内に**全体の文字が**
表示されるサイズを選択する

色の設定はソフトの右端の**マテリアルの**
背景側(下側)の色の部分をクリック
表示された色見本から選択し OK
<前記C.の図にある文字色が選択された
色になっていることを確認>



E. 文字の**サイズ**、**回転**、**位置**の調整をする。

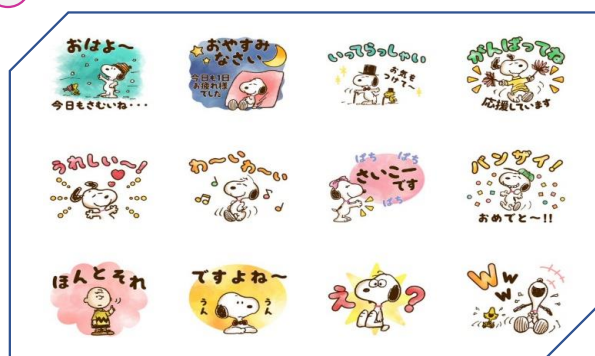
ツールパレットの **変形** を選択 » 文字の上に**変形用の**
ハンドル が表示 » フロート選択範囲になっているので、
メニューバーの **選択** » **選択の解除** » 選択解除
文字周辺の上下左右に**各3個のサイズ変更のハンドル**。
中央から右に伸びた線の先に**回転**のハンドルあり。
これらのハンドルで、イラストの**大きさ**、**回転角**
位置の調整をする。

(3ページ F. のイラストの変形操作と同様)

F. 文字の追加は **レイヤー**の追加 » 追加した**レイヤー**を選択 確認し、上記 C. からの同様の操作を行い**追加**する



ひとやすみ
既製品のスタンプも参考にしよう



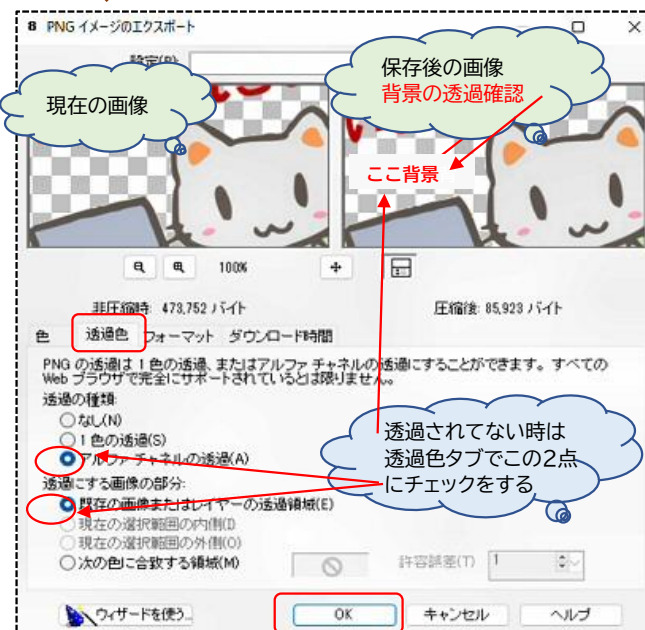
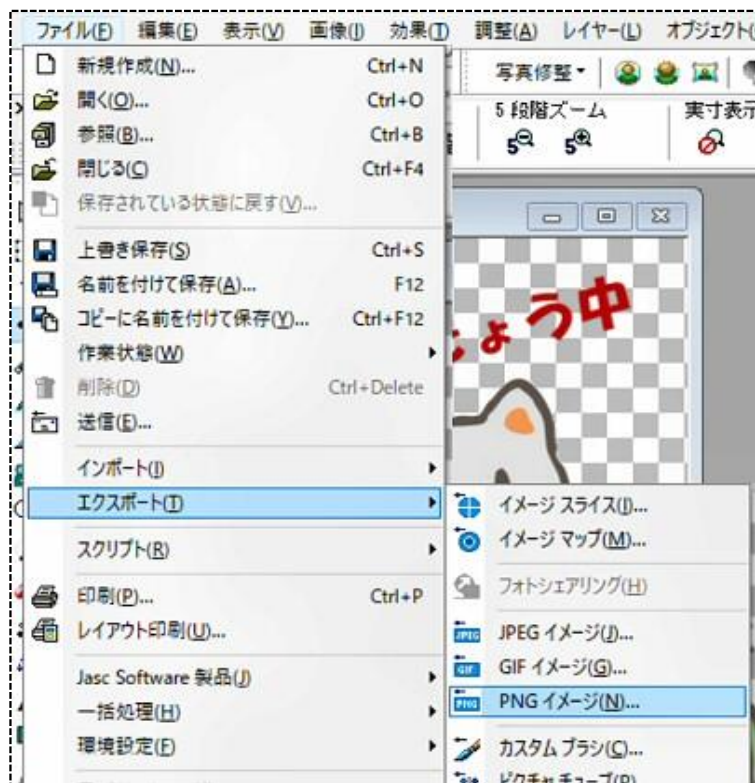
保存へつづく

⑤ さあ「イラスト・文字」の入った画像を保存します。

ここで保存したファイルは、正式な
スタンプとして、登録できます。

A. メニューバーのファイル ≫ エクスポート ≫ PNGイメージ

出てきたエクスポート画面をチェックする



エクスポートの内容を確認・修正が終わったら
OKボタン で、保存画面が表示される
* 保存場所を選択、希望するファイル名をつける
* 左画面の例：作っておいた「スタンプ」という
フォルダーに「neko1.png」名で保存
拡張子が「png」 になっていることを確認

保存をクリックし**保存完了** “疲れたでしょう”
念のため保存場所にpngファイルがあるか確認

以後はこのファイルを8個単位でつくれば
正式なスタンプとして、審査・登録へ提出できます

以上で基本のスタンプの作成は終了

7 ページに上記ファイルを利用してスタンプ風
に変換して利用する方法を記述します

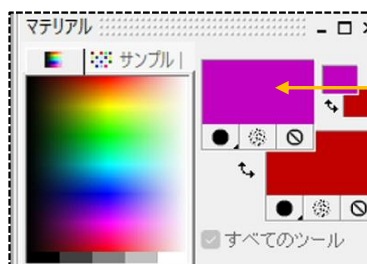


さあ「スタンプのファイル」をそれらしく変身します » 透過している背景部分にLINEアプリの背景色を塗る


A. 保存したファイルを開いておく

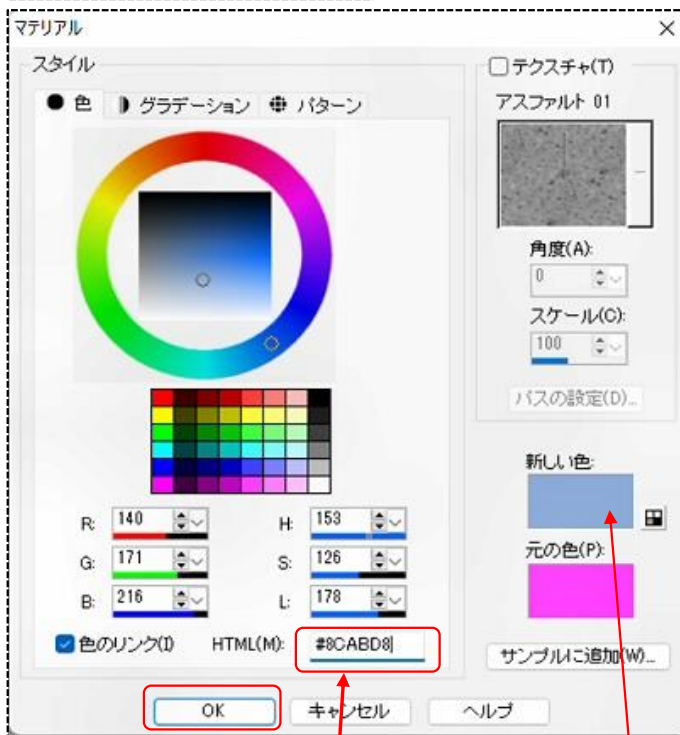


B. 色のマテリアル » 前景色をクリック » 色の設定画面へ



色の設定画面へ

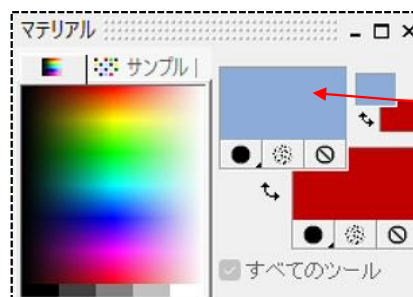
C. 前記 B. で色の設定が完了したら
ツールバーの「塗りつぶしツール」 を
使い画像の透過部分にこの色を塗る(クリック)



この色コード「#8CABD8」に設定
(大文字でも小文字でも可) » OK

それらしい色に

色の前景色が設定
の色に変化



D. さあ完成です。保存しましょう！

ファイル » エクスポート » JPEGイメージ »
エクスポート画面(特に設定不要) » OK »
保存場所を選択しファイル名を付け保存する
(拡張子は .jpg)
(注) 詳細は6ページの保存方法と同じ [拡張子が
png と jpg と相違するだけ]

暫定の完了

不備・誤記入
今後修正

